

回 覧

堀金公民館だより

『常念の里』



第74号

発行

安曇野市

堀金公民館

TEL : 72-5796

令和8年 5月

堀金地域人口

男 4,216 (+ 4)

女 4,422 (-20)

計 8,638 (-16)

世帯数 3,644

(+ 7)

【5月1日現在】

童謡・唱歌・心の歌

4月23日、堀金公民館講座「童謡・唱歌・心の歌をうたいましょう」の第一回目が開催されました。

西山紀子さん（早春賦愛唱会代表）を講師に、月一の全7回で、25名の受講者が「バラが咲いた」「故郷」等を心を込めて合唱しました。また、動画「四季の花々春よ来い」を



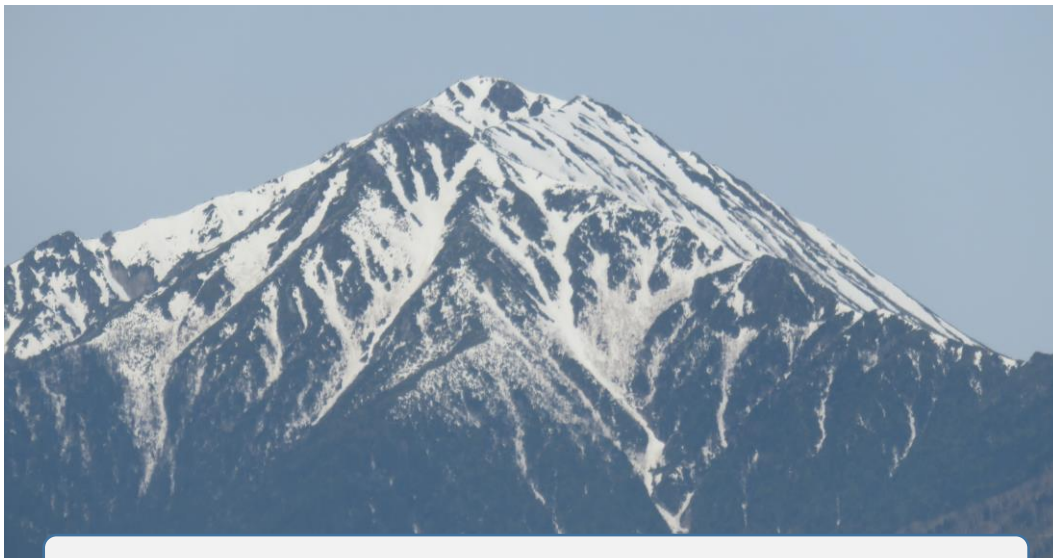
視聴しながら楽しく歌いました。

常念坊の雪形 3態ある？

北アルプスの雪解けが進み、安曇野（堀金地域）のシンボル常念岳（2857[㍎]）の東側（手前）に位置する前常念岳（2662[㍎]）に黒型（ネガ型）で山名由来の「常念坊」の雪形がくつきりと姿を現しました。

雪形の中で人柄が語られるほど知名度が高く、常念岳の名前の由来が諸説（『前々号堀金公民館だより』常念の里』第72号に掲載）ある「常念坊」の雪形。僧侶が合掌する姿や徳利を持つ姿ともされる1態の「常念坊」の他に、各種文献に載っていない昔から言い伝えられてきた2態の「常

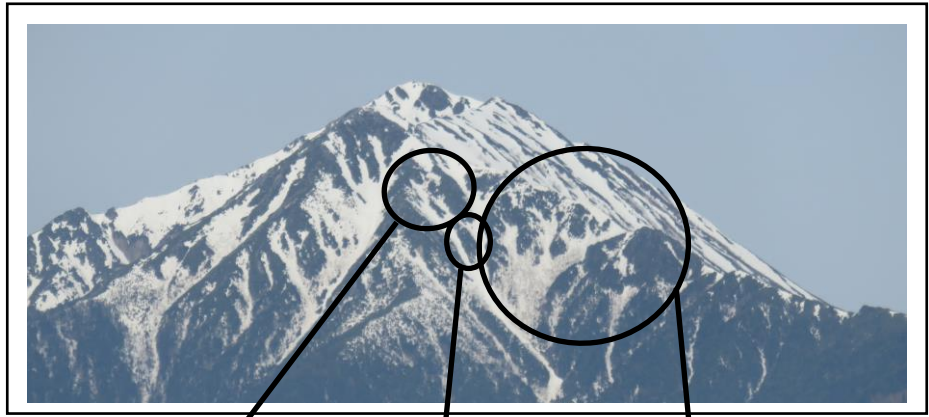
念坊」があります。左の写真から探してみましよう。



3態について、裏面で説明します。

裏面へ続く

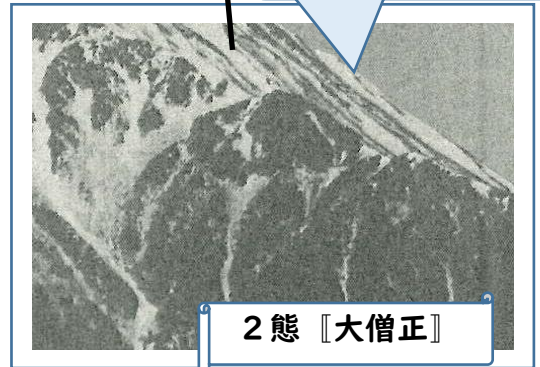
3態の「常念坊」？



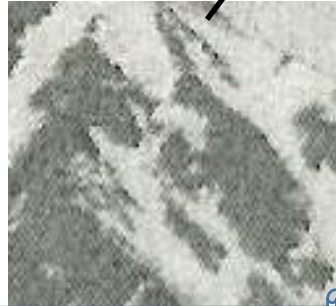
前常念岳3分の1の山肌を占め、左向きの横顔は、額、眉毛、目、鼻、口、あごまで見てとれ、袈裟をまとった老僧である。

伝承「常念坊」に同伴する見習い僧侶。

3態【小坊主】



2態【大僧正】



1態【山名由来の伝承雪形「常念坊」】

観望適季の鉄鉢を持った托鉢姿の「常念坊」、左側に編み笠をかぶった袴姿の女性が穴あき貨幣を入れている姿である。

和歌

菜の花の次は桜と景色変えテーブル上の春を楽しむ
 年老いた義父母のおれば母のこと夜中にそつと安否の電話

三澤 益代
 猿田 みさ子

昔から常念坊の出現は、田植えを準備する季節の到来を知らせるものとされ、4月下旬に現れます。今年例年より形が早く見え始めました。今後、さらに雪解けが進むと常念坊（1態）の左上に、尾根に残った雪が鉞に見える白型（ポジ型）の「万能鉞」の雪形が出現します。

「出展・タウン情報 探訪雪形絵巻 56」

堀金

≪6月の公民館事業予定

- 4日(木) 菊づくり講座①
- 11日(木) 新お宝発見講座『捨ヶ堰』
- 14日(日) 堀金公民館関係者研修会
- 17日(水) 子育てサークル「常念っ子」③
- 20日(土) 食楽講座①
- 25日(木) 童謡・唱歌・心の歌をうたいましょう③

「酷暑日」

気象庁は4月17日、最高気温が40℃以上の日の名称(予報用語)を「酷暑日」に決めたと発表した。命に関わる暑さの日が頻発していることから、危険をイメージしやすい、地球温暖化への関心も高めたいとしている。
 今夏も気温が高くなることが予想されており、熱中症対策に取り組んでいきたいと思います。

編集後記

「花見」から、アツつという間に「新緑」、アツと言う間に「深緑」となりました。一日一日を大切に過ごしたい今日この頃です。

【朴風】